

【別紙】

Hyoro-zeme in the battle for Tottori castle (1581): the first description of refeeding syndrome in Japan

〔天正9年（1581年）鳥取城の戦いにおける「兵糧攻め」：
日本におけるリフィーディング症候群の最初の記述〕

ポイント

- ・天正9年(1581年)、羽柴(のちの豊臣)秀吉が鳥取城を攻撃した際に兵糧攻めを行い、城内は凄惨な状況で多くの餓死者が出た。
- ・同時代の人物である太田牛一の記録『信長公記』には、落城後に飢餓状態にあった人々に秀吉が粥をふるまったところ、大量に食べたものは死に、少しずつ食べたものは生き残ったと記されている。
- ・この症状は慢性的な栄養不足の患者に急激に栄養を与えると引き起こされるリフィーディング症候群であった可能性が高いと考えられ、天正9年の鳥取城の戦いの例は日本で記録されたもっとも古いリフィーディング症候群の記録であり、世界的にみても貴重な歴史資料である。

内容

日本の戦国時代には、全国各地で敵を包囲し食料などを尽きさせる「兵糧攻め」という戦術が採られた。中でも天正9年(1581年)の鳥取城を巡る攻城戦の中で羽柴(豊臣)秀吉が採った兵糧攻めは、「餓え殺し」とも呼ばれる過酷なもので日本史上最も有名な兵糧攻めの一つである。

鳥取城の攻城戦において、城内には武士・兵士に非戦闘民含め千数百人が籠城していたが、場内の飢餓状況については太田牛一の記録「信長公記」に詳しく述べられている。天正9年の攻城戦では、鳥取の近隣の人々が逃げ込んで籠城した。下級武士や百姓は長く立て籠もる準備をしていなかったのすぐに食料が尽きている。籠城した人々は柵際に寄って射殺され、その他の人たちが遺体を奪い去って食したという地獄の様な状況となった。結局、城主の吉川経家が切腹することで秀吉は城内の人命を助けることが決まり、3カ月以上にも及ぶ籠城戦は終わり、鳥取城は同年10月25日に落城した。

「信長公記」巻14(11)(奥野高広・岩沢愿彦校註『信長公記』(角川書店、1969年))

十月廿五日、取鳥籠城の者扶け出だされ、余りに不便に存知られ、食物与へられ候へば、食に爰ひ過半頓死候

【城が落ちた10月25日、鳥取城に籠城していた人たちが助け出された。(秀吉は彼らを)かわいそうに思って食物を与えたが、食べた人は食に“酔って”しまい過半数がすぐに死んでしまった。】

「豊鑑」巻1(『日本文学大系第13巻』(1926年))

宗徒の者ばかり自害し、残れるはみな助けて出しぬ。久しく食を絶ちしを秀吉憐み、大いなる釜を据え並べて粥を煮て、奉行を定めて城よりいづる者共に、食はせられて志また懇なり。多く食せし者は忽ちに死に、え少し喰ひしは恙なかりけりとなむ。

【(鳥取城の)主だった者は自害し、残った人は皆助けだした。人々は久しく何も食べていなかったの秀吉はこれかわいそうに思い、大きな釜を並べて粥を煮、奉行を決めて城から出てきた人たちに食べさせたのは非常に懇ろな思いやりだ。粥をたくさん食べたものはすぐに死んでしまったが、少し食べたものは問題なかった。】

戦国時代を生きた太田牛一・竹中重門は著作である『信長公記』・『豊鑑』に、秀吉が城兵を可哀そうに思い食事を振舞ったところ、食後急に亡くなった人がいたことを記している。この事実はよく知られた話であったとみえる。また、この大量死がリフィーディング症候群という疾患が原因であったのではないかという仮説は、日本の医師の間において逸話的に語られてきたが、その根拠となる論文は今まで存在しなかった。

落城後の城内の人々は極度の栄養失調状態にあった。くわえて、豊鑑の記述によれば、落城後の城内の人々の生死を分けたのは粥を食べた量に左右されていることがわかる。すなわち、多く粥を食べたものは死に、大量摂取を控えたものは生存したことが記録されている。意図せずして、「比較実験」が行われていたのである。すなわち極度の飢餓後の炭水化物の摂取により同時期に発生した大量死は、リフィーディング症候群によるものであると推察される。

鳥取城の戦いで引き起こされた落城後の大量死については、リフィーディング症候群の群衆発生の疑いが大きい。これが事実であれば、日本史上最初のリフィーディング症候群の事例であり、「食べると死ぬ」という一見奇怪なリフィーディング症候群の危険性と重要性を伝える重要な歴史的記録であるといえる。またこの報告は、現在も繰り返される世界各地での戦争や食糧危機に対しても重要な警鐘となる。

これらのことから、鳥取県の歴史に残る重要な歴史的医学記録として、査読付きの国際医学雑誌に掲載された。

掲載論文

Yasuhiro Kano, MD, Sayaka Aoyama, MD, and Ryuichiro Yamamoto, PhD

Published: September 08, 2023

DOI: <https://doi.org/10.1016/j.amjms.2023.08.015>

The American Journal of the Medical Science

※現在、期間限定でオンライン公開中：

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0002962923013277?dgcid=author>

※論文をご覧になりたい場合は、以下までお問い合わせください：

川上 靖（かわかみ・やすし） 鳥取県立博物館 学芸課 学芸課長

TEL: 0857-26-8044 / E-mail: kawakamiy@pref.tottori.lg.jp

または、

山本 隆一朗（やまもと・りゅういちろう） 鳥取県立博物館 学芸課 学芸員

TEL: 0857-26-8044 / E-mail: yamamoto-r@pref.tottori.lg.jp